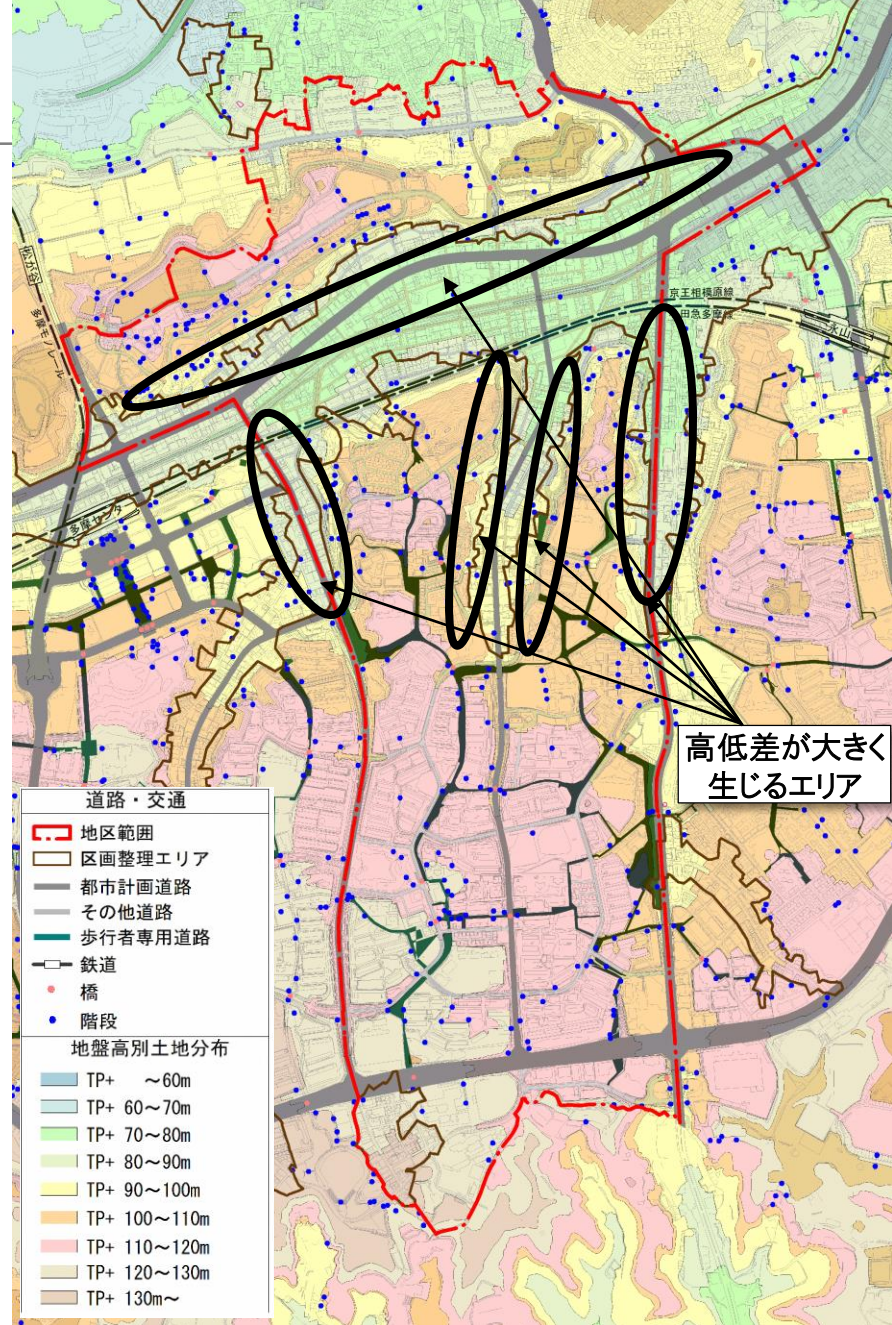


## 6. ネットワーク

### ① 地形・高低差

- ▶ 貝取・豊ヶ丘地区は、高台に位置しているが、地区内は緩やかに造成
- ▶ 愛宕地区は、地区内での高低差や傾斜も大きい
- ▶ 区画整理エリアとの高低差が住区外とのネットワークを妨げている

- 新住区域は緩やかに造成されているが、区画整理区域との間に20m以上の高低差が発生しており、住区外へのネットワークを妨げる要因となっている。
- 愛宕地区は、地区内での高低差や傾斜も大きく、区画整理エリアとの高低差も大きい。

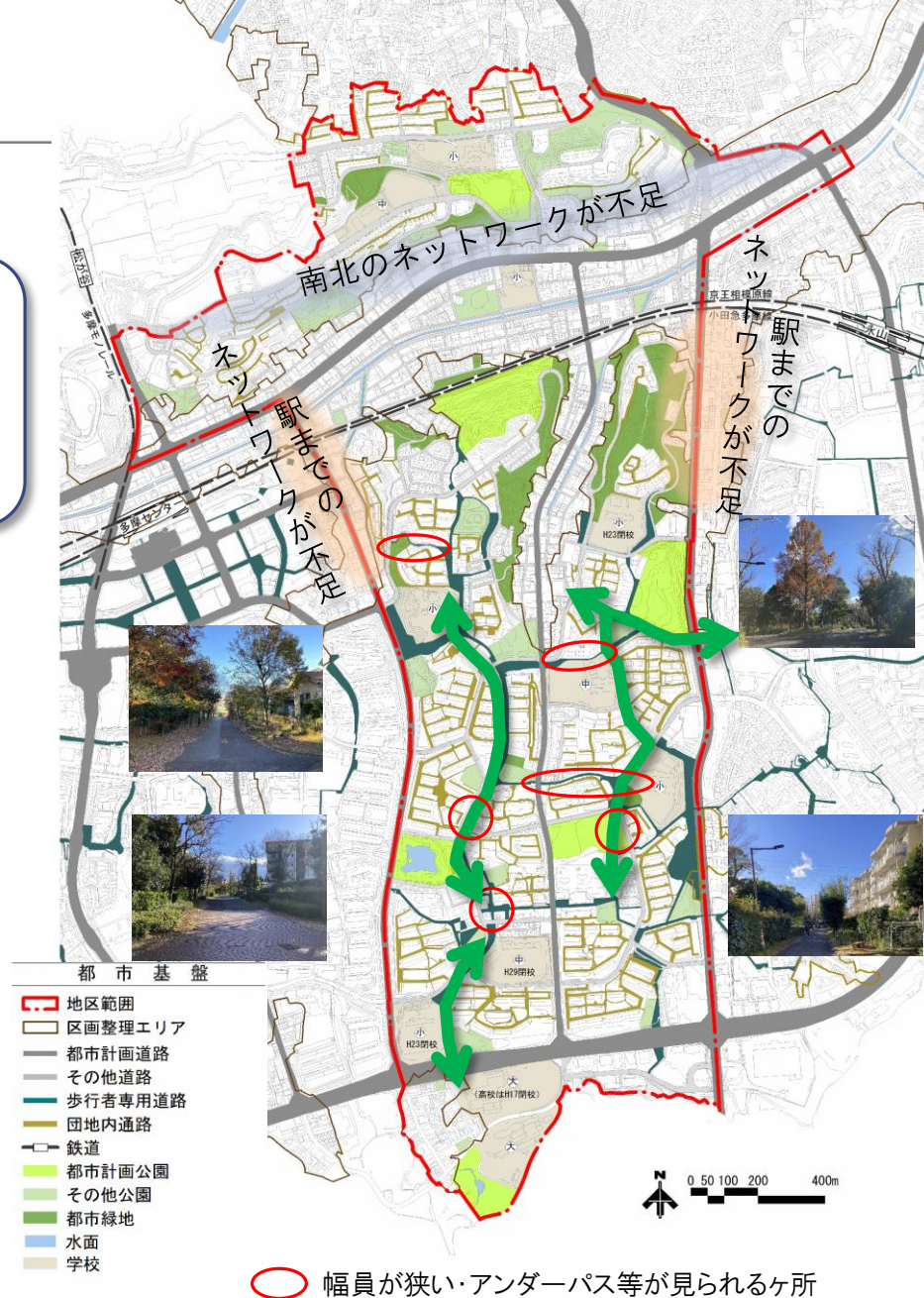


## 6. ネットワーク

### ② 道路・遊歩道

▶ 住区内は遊歩道によるネットワークが充実  
ただし区画整理エリアとのネットワーク不足が課題

- 主要道路は谷戸に位置。
- 新住区域内は歩車分離の基盤が整っている一方、幹線道路沿いに位置する区画整理エリアとの接続が課題。なお歩行者動線は、遊歩道や団地内通路、公園内園路等を介して移動している。
- 愛宕地区は地区内の高低差が大きく地区全体の南北の歩行者動線は、階段による動線がメイン。
- 全般的に、遊歩道は地形や環境を活かした豊かな屋外空間、景観を形成している、一方、幅員が狭く、人通りが少ない場所は、樹木が鬱蒼としており、暗い印象がある点も課題。



○ 幅員が狭い・アンダーパス等が見られる箇所

# 6. ネットワーク

## ③ バスネットワーク

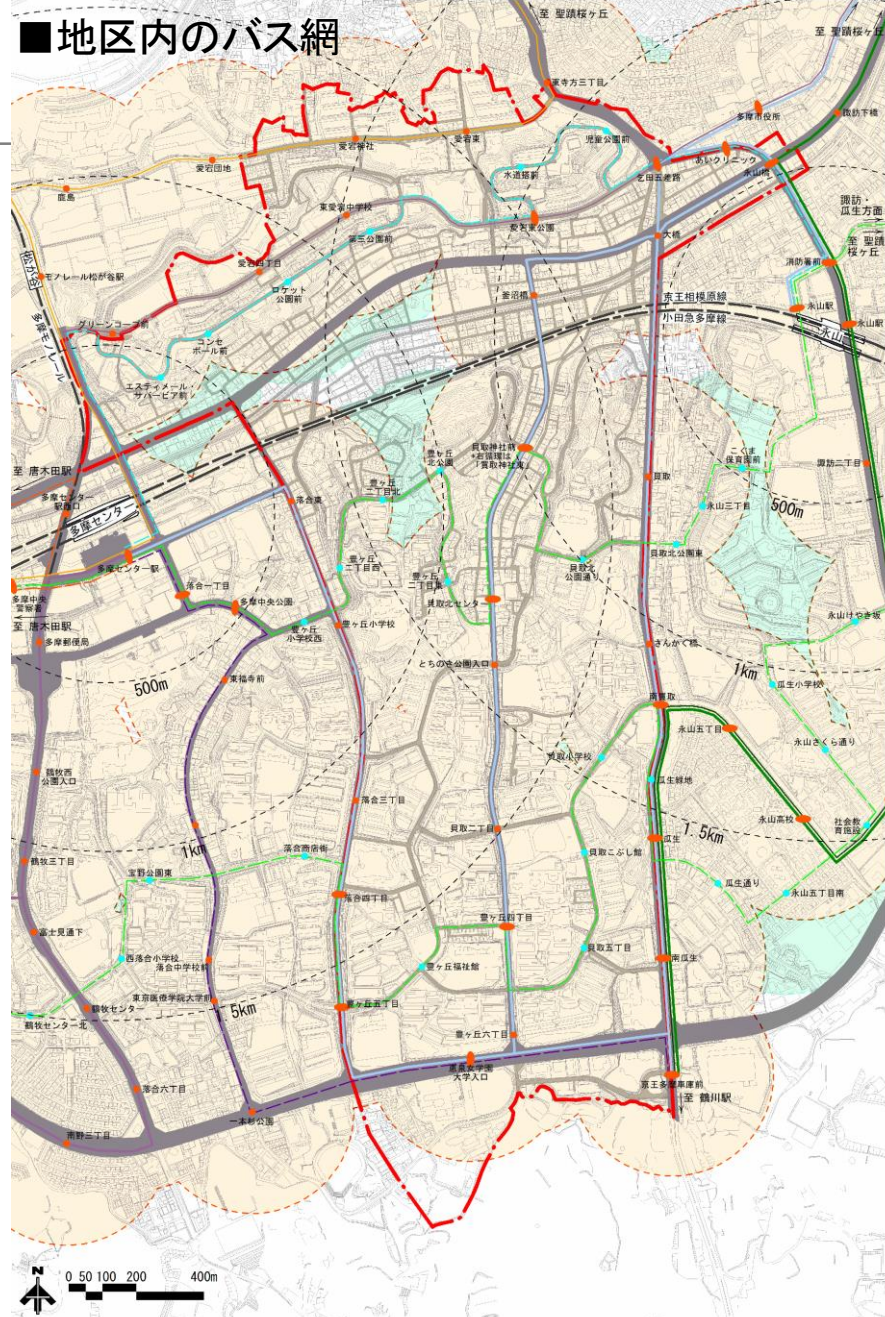
▶ 既存バスは幹線道路を中心にネットワーク

▶ 愛宕地区は、幹線バス路線と支線のコミュニティバスで、東西にネットワーク

▶ 貝取・豊ヶ丘地区は、幹線バス路線が南北にネットワーク。東西方向は支線のコミュニティバスが補完

バス停・バス路線	
	多摩市ミニバス バス停利用圏 (300m)
	その他 バス停利用圏 (300m)
	多摩市ミニバス南北循環 (愛宕ルート)
	多摩市ミニバス東西循環 (右循環)
	多摩市ミニバス東西循環 (左循環)
	② 桜23・桜24・桜25 永13・永14・鶴31
	③ 桜22・桜23・桜24 桜25・永12
	④ 桜06・永34
	⑤ 多03・永65
	⑥ 多61・桜63・桜62
	⑦ 桜72・桜73
	⑧ 多43・多44・多45
	⑨ 多05・鶴32
一日平均本数	
	151本～200本
	101本～150本
	51本～100本
	0本～50本

### ■ 地区内のバス網



## 6. ネットワーク

### ④ 交通不便地域

- ▶ 多摩市地域公共交通再編実施計画では、公共交通ネットワーク全体を一体として形づくり、持続させることを目的に、バスを幹線・支線へ再編し、地域密着交通の導入が方針として示されている。
- ▶ 当該計画においても、今後検討していく施策として、団地内の移動手段確保が示され、その解決のために導入を検討する交通モードとしてグリーンスローモビリティ等の導入が挙げられている。



# 7.まとめ

本地区は駅を含まないエリアに位置しており駅利用の利便性、高低差、旧耐震マンションの立地等の課題がある一方、地形を読み取った実験的な住宅計画や、住戸のバリエーションの豊富さなど多様性のある住宅ストック、地形を活かした特徴的な景観、遊歩道ネットワーク等に特徴のあるエリアである。上記視点と現状整理を踏まえ今後の検討ポイントの整理する。

### ゾーニング

- 駅距離圏や市場性などを勘案しながら、分譲団地マンションについては再生を促すとともに、地区内の良好な住宅ストックを生かすように供給年数や住宅性能の差を踏まえたゾーニングを検討。
- 駅から距離のある立地特性のライフスタイルや、公共施設や近隣センターの機能による住区のとらえ方を踏まえたゾーニングの工夫も必要。

### 拠点

- 区画整理エリアの沿道型地域拠点である多摩NT通りやサブセンターでは、車アクセスの良さから商業機能の維持は図れている一方、近隣センターの一部はコミュニティ拠点化や空き店舗化していることより商業面での再生を図るためには、沿道型地域拠点化についての検討も必要。
- また沿道型地域拠点は高低差の解消に加え、配達等生活支援拠点としての役割についての検討も必要。
- 地域公共交通再編実施計画と連携した新たな交通拠点の形成も必要。

### ネットワーク

- 団地内外とのネットワークを補完する新たな交通モード（グリーンスローモビリティなど）の検討が必要。
- 他のエリアや周辺拠点とのネットワークの検討も重要。その際の高低差解消が課題。

## 8. 次年度の検討事項（案）

次年度以降は、地区内の課題を踏まえ、将来都市構造とその方向性の検討を行なうとともに、実現に向けたリーディングプロジェクトの検討を行う。

次年度以降の検討テーマ		
項目	方向性・考え方	リーディングPJ（案）
ゾーニングの考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅との関係性や住宅の性能、公共施設、近隣センター、公共交通の手段といった地域の状況を踏まえたゾーニングの設定</li> <li>・ 分譲団地マンションの再生に向けた方策の検討</li> </ul>	団地再生PJ など
拠点のつくり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティ拠点化が進行する近隣センターやサブセンターなど既存の拠点のあり方</li> <li>・ 幹線道路を活かした沿道型地域拠点としてのあり方</li> <li>・ 空き店舗や廃校等を活用したコミュニティや働く場等新たな拠点形成のあり方</li> </ul>	尾根幹線沿道開発PJ 近隣センター再生PJ 団地再生に関わる拠点づくりPJ など
ネットワークのつくり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各幹線道路、遊歩道の役割や位置づけ</li> <li>・ コミュニティループの考え方</li> <li>・ 新交通技術を活かしたネットワークの強化策</li> </ul>	周辺環境整備事業PJ 交通PJ など
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民との意見交換、住環境の調査による地域ニーズの抽出</li> <li>・ 人を呼び込み、ニュータウンで循環させていく方策を検討</li> <li>・ ターゲットとする暮らし方・生活イメージの検討</li> </ul>	

## Ⅲ. シンポジウムについて

# ■シンポジウムについて

- 再生推進会議からの報告、基調講演、座談会にて新たな価値を創出する南多摩尾根幹線沿道の将来のまちづくりについての意見交換を行う。  
※新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、オンラインによる開催

<p><b>主な目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多摩ニュータウンの新たな価値を創出する取組みの可能性について、テクノロジーを用いたまちづくりと南多摩尾根幹線沿道の将来像を題材とし、イメージを共有するとともに、様々な人から募集したアイデアを基に、意見交換を行う。</li> </ul>
<p><b>テーマ</b></p>	<p>「多摩ニュータウンの地域課題解決に向けた 新たな価値を創出する取組みの可能性」</p>
<p><b>日時</b></p>	<p>令和3年2月13日(土)13時30分～15時30分(予定)</p>
<p><b>開催形式</b></p>	<p><b>ZOOMウェビナー ※後日、多摩市公式YOUTUBEチャンネルでの配信も予定</b> 明星大学のご協力をいただき、同大学より配信を予定</p>
<p><b>周知・意見収集</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホームページ、広報への案内掲載、関係機関等へのポスター・チラシ等の貼付・配布による幅広い周知</li> <li>● また、南多摩尾根幹線沿道のまちづくりアイデアについて、アイデアカードの配布・HP掲載により、事前募集(12月20日募集開始～1月29日まで)</li> <li>● 事前募集のアイデアの中から代表的なものを紹介し、パネラーが意見交換を行う。また、オンラインシンポジウム終了直後に、PDCAに係る市民評価アンケート調査等により、期待度調査を行う。</li> </ul>



# ■シンポジウムについて

## 事前アイデア募集

- たま広報・公式ホームページにて、「将来の南多摩尾根幹線沿道のまちづくりアイデア」を募集。
- 市民をはじめさまざまな立場の人たちからアイデアを募集し、今後の検討に活かすとともに、シンポジウム第3部の座談会テーマとする。

● 再生推進会議で議論をしている方向性を踏まえた3つの視点からアイデアを募集

- ①賑わいのある・賑わいをつくる場所
- ②働く場所
- ③新たな価値・考え方・仕組みを取り入れ社会変化を起こす拠点(イノベーションを創出する場所)

将来の南多摩尾根幹線沿道のまちづくりアイデア 縦横式

テーマ

お住まい 例：市内（ 調子 ） 市外（ 八王子市 ）	年代に○をつけてください	ご職業等
市内（            ）	・20歳未満    ・20代	・学生            ・会社員            ・公務員
市外（            ）	・30代            ・40代	・パート等        ・派遣社員        ・主婦（主夫）等
	・50代            ・60代	・無職            ・その他
	・70代            ・80歳以上	

アイデアカードイメージ

## ■ シンポジウムについて

### 当日のプログラム(予定)

プログラム		内容
開会挨拶		・阿部市長
多摩市の紹介		・多摩市都市整備部長
第1部	再生推進会議 からの報告	・尾根幹線沿道土地利用方針の検討及び愛宕・貝取・ 豊ヶ丘地区等まちづくり計画の検討について報告 ・リーディングプロジェクトの報告
第2部	基調講演	テーマ「技術が人に寄り添う社会をともに創る」 ・基調講演者：株式会社日立製作所研究開発グループ
第3部	座談会	・市民から事前に募集した尾根幹線沿道のまちづくりアイ デアの中から代表的な提案を紹介し、パネラーと意見 交換を行う。 ・コーディネーター 上野委員長 ・パネラー 基調講演者、松本委員、市民委員、多摩市長
閉会挨拶		・副市長
アンケート		・閉会后、多摩市公式ホームページのアンケートフォーム から回答いただく。